

予防接種のお知らせ

MRワクチン【I期】・水痘ワクチン

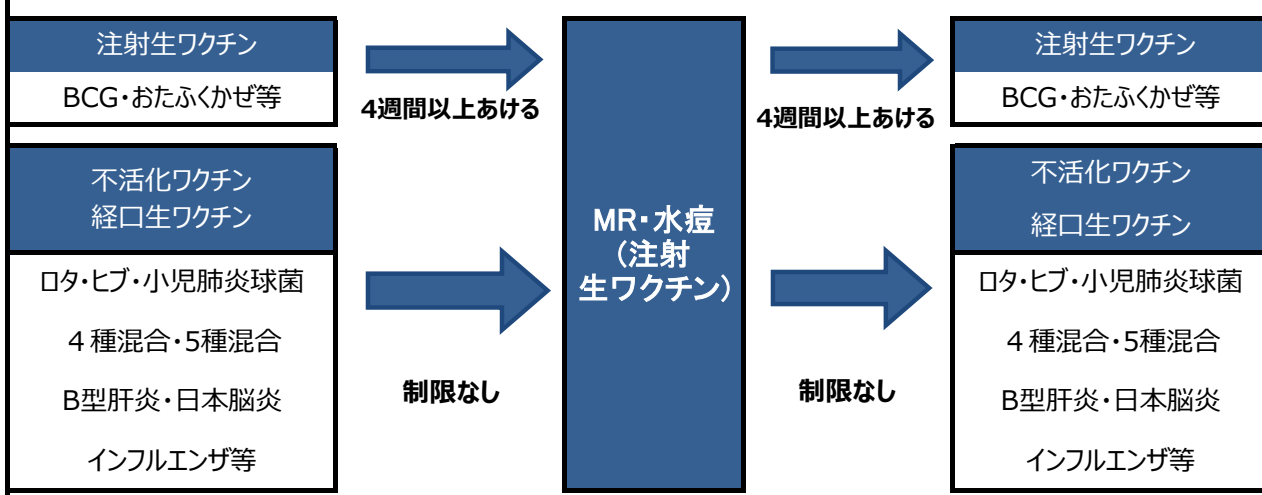
★平成31年4月2日以降生まれのお子さま

母子モ（デジタル予診票）が便利！ ぜひ、ご利用をご検討ください。

★紙の予診票を紛失した場合、糸満市ホームページからダウンロード可能。

MR (麻しん 風しん)	【対象期間】1歳～2歳の誕生日の前日 【回数】1回（小学校就学前にⅡ期があります。）	
水痘 (水ぼうそう)	【回数】2回 【標準接種期間】1回目：1歳～1歳3ヶ月の前日まで 2回目：1回目の接種後、6ヶ月～12ヶ月後 (1回目の接種後、3ヶ月後から接種可能) 【公費対象期間】1歳～3歳の誕生日の前日	
接種場所	・別紙「個別予防接種医療機関（南部地区）」 または本島内の医師会加盟医療機関(直接、医療機関へお問合せ) ※県外や県内離島での接種には糸満市からの依頼書が必要です。 詳細は糸満市ホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせ下さい。	
料金	無料	MR：約12,000円 全額自己負担の場合 水痘：約10,000円×2回
持ち物	・親子健康手帳 ・予診票 ・住所が分かるもの（子ども医療費受給資格者証、マイナカード等）	
その他	別紙「予防接種について」参照。	

□他の予防接種との間隔(同時接種希望の場合は医師と相談してください。)



おしえて！Chicken！



MRワクチンは、麻しんワクチン（M）と風しんワクチン（R）の混合ワクチンです。麻しんも風しんも感染力が強く、かかると症状が重くなりやすい感染症です。

水痘とは「みずぼうそう」のことです。かかっても軽いと思われる水痘ですが、脳炎や肺炎、皮膚の重い細菌感染症など多くの合併症が知られています。年間100万人程度が発症し、4,000人程度が入院、20人程度が死亡していると推定されています。

どちらも、かかると重症化が怖い感染症です。1歳になったらすぐ、ワクチン接種をしましょう。

MR（麻しん・風しん）

◆麻しんとは

麻しんウイルスによる感染症。感染力が非常に強いので、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。過去には幼稚園や大学での集団発生も報告されています。

感染後約10日で発熱や咳、鼻水などが見られ、2～3日発熱が続いてから39℃以上の高熱と発疹が出ます。肺炎、中耳炎を合併しやすい入院することもあります。脳炎の発症（1,000人に1人）や死亡するケースもあります。

感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で手洗いやマスクのみで予防できません。ワクチン接種が有効な予防法です。

◆風しんとは

風しんウイルスによる感染症。発疹、発熱、リンパ節の腫れ等の症状が見られます。まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症を起こすことがあります。

多くの人が予防接種を受けることで、個人が風しんから守られるだけでなく、他の人（妊婦等）にうつすことが少なくなり、社会全体が風しんから守られます。

水痘（水ぼうそう）

◆水痘とは

水痘（みずぼうそう）はウイルスに触れたり、ウイルスを口や鼻から吸い込んだりすることで感染する病気です。かかると、熱が出たり、なかに水が入ったぶつぶつができたりします。典型的な症例では、ぶつぶつは中が水っぽいものから粘液状になり、かさぶたができて治るとされています。うつりやすい病気で、一人がかかると家族や周りの人たちに広がってしまうことがあります。



大人になってもかかるの？

大人でもかかります。妊娠中に風しんにかかると、あかちゃんに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいを持った赤ちゃんが生まれる可能性があります（先天性風しん症候群）。水痘も大人でもまれにみられ、重症化するリスクが高いといわれています。また、妊娠20週までの妊婦が水痘にかかると、まれにあかちゃんが先天性水痘症候群（低出生体重、脳炎など）として出生することがあります。妊婦自身も重症化しやすく、出産前後に発症すると、生まれたあかちゃんも水痘にかかり、重症になります。

■ 副反応について

ワクチンを接種した後に起こるかもしれない身体の反応のことです。健康な子どもや大人ではほとんど体の変化はみられません。熱が出たり、ぶつぶつができたりすることがあります。稀に、接種した部分が赤くなったり、腫れたりすることがありますが数日で消えます。きわめて稀に、アナフィラキシー、けいれん、血小板減少性紫斑病、脳炎などの重い病気にかかることがあるといわれています。

お問い合わせ先

糸満市役所 健康推進課 予防係 電話：098-840-8126